

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：八幡市

プロジェクト名	安心・安全実感プロジェクト ～ワンランク上の安心・安全を追及～		実施期間	平成28年度	テーマ	まちの安心・安全	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年7月6日八幡市と京都府警察は京都一安全・安心・自然と歴史文化が調和する八幡市民ぐるみ推進運動をスローガンとして協定を締結し、互いに連携した取り組み（防犯カメラ整備、ゾーン30）が必要である。</li> <li>・自主防災隊から災害用車椅子の配備の要望がある。</li> <li>・市民とともに、火災から生命と財産を守るため、消防団の支援を強化することが必要である。</li> <li>・市民へ確実に災害時の情報を伝達する防災ラジオが必要である。</li> <li>・東日本大震災を教訓に、歩行困難者に対する避難器具として車いすの整備が必要である。</li> <li>・高齢者を狙ったひったくりが頻発し、防犯対策が必要である。</li> <li>・主に三川の水難事故に備えて、水難救助艇の整備が必要である。</li> </ul>							
プロジェクトの目的及び概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨今の記録的豪雨から生命・財産を守るまちづくりを進める。</li> <li>・東日本大震災を教訓に、防災対策向上に向けた取組を市民と一体となって進めていく。</li> <li>・市民や自治会等との協働による、災害に強い安心・安全なまちづくりを目的とする。</li> </ul>							
	総事業費（千円）	325,461	本年度事業費（千円）	325,461	交付金額（千円）	6,909		
プロジェクトを構成する事業の平成28年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	まちなか防犯カメラ設置事業	交付対象事業	犯罪の防止を目的に駅前や公園等に防犯カメラを設置		28年度15台			
	クラウド型基幹業務支援システム構築	交付対象事業	現行の庁内にシステムを設置する方式から、クラウド型への移行等		基幹業務電算システム改修			
	Limit speed of 30km/h交通安全ゾーン30整備費	交付対象事業	歩行者等の安全な通行を確保するため、ゾーン30を整備		28年度末98.7ha			
	防災ラジオ整備	交付対象事業	避難勧告等の緊急情報を伝達する手段として活用する防災ラジオを整備する		28年度500台			
	水難救助艇整備	交付対象事業	救命艇1号艇更新及び関連用品一式整備		1艇更新			

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：八幡市

	高規格救急自動車整備	交付対象事業	高規格救急自動車購入	1台更新	
	自助共助推進！自主防災車いす事業助成	交付対象事業	歩行困難者に対する避難器具として自主防災隊へ支給するため、防災倉庫1台につき2台の車いすを購入	防災倉庫1台につき2台の車いす整備	
	通信指令台更新	交付対象事業	29年度稼働に向け通信指令施設を更新し、併せてデジタル化未対応のシステムも対応させる。	消防・救急車両位置情報表示機能追加、画像伝送機能追加、情報セキュリティ強化等	
住民協働事業	木造住宅耐震診断事業	関連事業	耐震診断士派遣、診断結果をもとに改修計画の提案	30戸	
	木造住宅耐震改修助成事業	関連事業	耐震性が不十分と判定された木造住宅の耐震改修経費に助成	27戸	
住民が取り組む事業					
成果指標①	成果指標の目標数値	防犯カメラ設置 28年度末75台		成果指標の実績値 (29年4月1日時点)	75台
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	目標と同数値を達成したため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標②	成果指標の目標数値	ゾーン30整備面積 28年度末98.7ha		成果指標の実績値 (29年4月1日時点)	98.7ha
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	目標と同数値を達成したため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：八幡市

成果指標③	成果指標の目標数値	防災ラジオ整備 28年度末1,500台		成果指標の実績値 (29年4月1日時点)	1,500台
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	目標と同数値を達成したため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標④	成果指標の目標数値	刑法犯罪の認知件数 27年末840件		成果指標の実績値 (29年4月1日時点)	719件
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	目標より大幅に刑法犯罪の認知件数が減少したため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	市民の防災の意識を高め、災害に強い安心・安全なまちづくりに寄与した。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	関連事業の木造住宅耐震診断事業、木造住宅耐震改修助成事業により市民とともに八幡市全体で減災の意識を高めていくことができた。			
	府と市町村等との連携に資する成果	防犯カメラについては、八幡署と協議を行い、京都府警の協力のもと安心・安全のまちづくりに努めることができた。			
	住民の自治意識を高める成果	避難器具車いすを購入することで、歩行困難者への配慮を高めることができた			
	リーディング・モデル成果	ゾーン30の整備は、歩行者等の安全な通行を確保のリーディングモデルである。			
	広域的波及成果				
	行財政改革に資する成果				
	その他の成果				

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：八幡市

---

---

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。